

2012年1月10日

小杉荘八 立体版画展

「木のネンドによる版画レリーフの世界」

2012年1月12日(木)～2012年1月30日(月)

第1旅客ターミナル中央ビル本館 5F NAA アートギャラリー

10:00～18:00(最終日 15:00 まで)

NAAアートギャラリーでは、千葉県市川市在住の造形家、小杉荘八氏による立体版画展「木のネンドによる版画レリーフの世界」を開催いたします。

同氏は、木材を加工する際に出るオガクズの再利用を目的として、土ではない「木のネンド」という独自の造形用素材を考案しました。木粉に糊料を加えてできる木のネンドは、成形や着色が容易な造形用素材となり、木のネンドに彫られた作品は、見ている方々の視点によって影が動くような立体感のある美しいものとなっています。今回の展示では、「時の流れ」、「空気の流れ」、「水の流れ」をそれぞれ「文明」、「航空機」、「船」で表現した作品を約40点展示いたします。ぜひご覧下さい。

<出展者略歴>

福岡県出身。1966年千葉大学園芸学部卒、1968年同大学文理学部卒。1972年株式会社「創」を設立。1975年銀座泰星画廊にて個展開催。1985年銀座イケダヤ画廊にて個展開催。2008年木内ギャラリー(千葉県市川市)にて個展開催。現在、市川市で造形教室の開催や講演等を実施。同氏は木のネンドを用いたはにわ製作にも携わり、同氏の作品であるはにわ「武人」、「二重の首飾りの女」は当空港内第2旅客ターミナルB1Fに設置にされている。

